



立川ひろとしからの手紙

立川ひろとしのシセイ（結城市政・政治姿勢）報告 2025.11.2 発行 No.2-32 発行：立川ひろとし後援会

〒307-0001 結城市結城(公達)9858-25 TEL 0296-33-5657 FAX 0296-54-4642 <https://tachikawa-hirotoshi.com> h_tachikawa@tacho-net.com



酷暑も過ぎ去り、涼しい季節に… 令和7年もあと2か月

日頃より、皆様におかれましては、立川ひろとしの活動に対しご理解・ご支援を頂き有難うございます。

猛暑の季節も過ぎ去り、令和7年も残り2か月となりました。急に涼しくなりましたので、体調や服装に気を付けて頂きながら、慌ただしい年の瀬を迎えて頂けたら幸いです。

市議会におきましては、令和7年 結城市議会 第3回定例会が開会され、令和6年度の決算審査、令和7年度補正予算の審議が行われました。私も、しばらくぶりに決算審査において登壇の機会を頂き質問致しました。

補正予算審議では、補正予算全体のうち、結城南中学校区 新設校建設事業に関する予算の令和7年度分 事業費分（令和7・8・9年度 3ヵ年継続事業の令和7年度分）が全額減額修正となりました。（補正予算の細かい数字は裏面を参照願います）

この学校建設費については、3月議会での提案内容から、体育館建設を削減することによって、事業費総額を約7億4100万円 減額（約44億1400万円 ⇒ 36億7300万円）したうえで、令和7年度 分 事業費 予算が提案されましたが、今回も可決とならず、事業開始に至りませんでした。

様々な課題がありますが、皆様のご意見を頂きながら、切磋琢磨して取り組んで行きたいと考えております。



再生可能エネルギーに関する勉強会にて解った風を装う
立川博敏



結城市議会
インターネット中継
立川分のページ



令和7年 4月～10月 活動の一部をご報告します！



2025.4 母校 城西小学校
青少年育成結城市民会議
城西支部 あいさつ運動



2025.5 茨城市町村有志の会
国政に関する勉強会 講師は
上月・加藤 両 参議院議員さん



2025.5 鉄道退職者の会
小田林駅・東結城駅の
整備要望に同行



2025.7 母校
下館第一高等学校
高校野球 県予選 応援



2025.8 結城南中学校区
新設小学校 説明会



2025.8 議会運営委員会
行政視察研修



2025.9 母校
下館第一高等学校
紫西同窓会 本体 役員会



2025.10 山川小学校にて
子どもたちとペタンク体験会



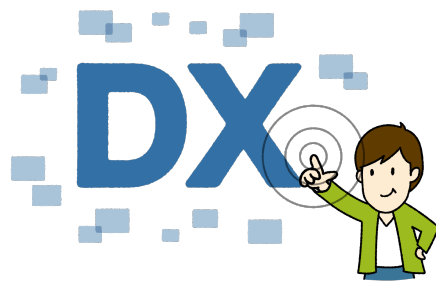
2025.10 総務委員会
行政視察研修



様々な課題にしっかり提言！ 立川ひろとしの一般質問ダイジェスト！

1. 自治体DXについて

昨今、著しく性能が上がり各方面で活用されているAIを活用しての政策分析、政策提案や、市の公式アプリケーションによる情報提供・情報収集についてどのように活用ができるのかについて質問を致しました。



【部長答弁】

- ・業務におけるAIの活用は、人口減少に伴って職員数減少が予測される中でも、安定かつ持続可能な形で住民サービスを提供することが求められており、業務効率化や単純事務作業のオートメーション化により、職員が人にしかできない相談業務等に集中できる環境を整えるためにも大変有効と考える
- ・様々な分野においてAIが活用されており、自治体業務への活用は今後ますます進んでいくものと考えている
- ・AIエージェントを活用した業務アドバイスによる効率化、また、様々なアンケートやデータを学習させて市の課題整理を行わせて政策立案やニーズ調査に活用できないかという提案は、先進自治体の取組や近隣自治体の動向に注視するとともに、その効果を勘案しながら、調査・研究したいと考える
- ・「自治体アプリ」は、自治体業務の様々な分野にも活用でき、住民の利便性の向上に資するだけでなく、行政事務の効率化も期待できる一方、導入経費だけでなく運用経費も発生し、多額の予算が必要となることも想定されることから、費用対効果について十分に検証を行い、導入について検討したい

【立川のコメント】

生成AIに結城市の様々な情報（これまでの国税調査・各種統計調査・アンケート・計画・日常市民の皆さんから頂く問い合わせ など）を投入して学習させ、政策の分析を行わせることで、これまで人間の思考だけでは繋げることはできなかった情報をベースに新たな政策課題を導き出せるのではと考える。最終判断は人間が行うことを前提としたAI活用による新たな課題分析への取り組みを提案した。

2. 下水道インフラの管理について

本年1月 埼玉県八潮市で発生した大規模な道路陥没事故を受けて、国土交通省が、来年4月から下水道管理者に定期的な安全点検と道路管理者への報告を義務付ける方針を出しました。これを受けて、今後どのように対応して行くのかを質問致しました。



【部長答弁】

- ・市内に埋設されている下水道管は平成25年に導入した「下水道台帳システム」を活用して管理し、下水道管やマンホールの位置、形状、設置年度などの情報を電子地図上で一元管理している
- ・本市の下水道管は全体の約3割が設置後40年を経過しており、耐用年数が50年とされていることから、老朽化が進行している状況
- ・そこで「結城市ストックマネジメント実施計画」に基づき、令和4年度に古い下水道管を中心に大規模なテレビカメラ調査とマンホールの目視点検を実施
- ・その結果、現時点で緊急の対応を要するひび割れや変形、継手部のズレなどの不具合は確認されてないが、今後も引き続き定期的な点検業務を継続していく
- ・令和8年4月1日から施行される「道路法施行規則の改正」に伴い、下水道管を含む道路占用物件について、定期的な安全性確認とその結果を道路管理者へ報告することが義務付けられる
- ・本市では、国道、県道、市道に埋設されている約210キロメートルの下水道管について、今後示される国の指針に従い適切に実施

【立川のコメント】

下水道や水道など、生活に直結するインフラの維持管理は、市民の皆さんの安心安全な生活を守るために重要である。先般の埼玉県八潮市での陥没事故を受けて、点検や報告の制度も義務化され、インフラの維持管理はさらに大変なものとなっている。国に対しては、単に制度強化を出していただくだけでなく、インフラ維持管理の技術的ノウハウの提供や、点検に係るコスト面についても地方自治体に支援することを求めていると提案した。



次号は 令和8年1月 後援会の皆様向けに郵送にて配布予定です！

次号は後援会の皆様向けに郵送でお届け予定です。郵送で届いてない方でご覧になりたい方がおられましたらお声掛けください。次号から郵送致します。



令和6年度 一般会計・特別会計・企業会計の決算認定と財務諸表

① 各会計の決算額は以下の通り

会計区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入－歳出
一般会計		211億 6,112万 5,044円	202億 5,775万 1,158円	9億 337万 3,886円
特別会計	国民健康保険	46億 1,080万 8,058円	45億 1,066万 9,581円	1億 13万 8,477円
	後期高齢者医療保険	8億 1,185万 5,484円	8億 991万 5,784円	193万 9,700円
	介護保険	37億 5,842万 5,179円	36億 275万 4円	1億 5,567万 5,175円
	南部第二土地区画整理	1億 2,196万 6,428円	7,144万 362円	5,052万 6,066円
	南部第三土地区画整理	5,543万 5,416円	3,810万 4,782円	1,733万 634円
水道事業	収益的収支	14億 990万 8,832円	11億 6,224万 7,882円	2億 4,766万 950円
	資本的収支	2億 588万 1,317円	6億 8,150万 3,934円	▲ 4億 7,562万 2,617円
公共下水道事業	収益的収支	13億 1,314万 3,926円	12億 6,916万 6,374円	4,397万 7,552円
	資本的収支	9億 7,795万 4,457円	13億 6,074万 4,719円	▲ 3億 8,279万 262円
農業集落排水事業	収益的収支	1億 5,886万 2,785円	1億 5,947万 8,540円	▲ 61万 5,755円
	資本的収支	2,038万 5,995円	5,297万 804円	▲ 3,258万 4,809円

- ※ 令和6年度 結城市決算資料を基に作成
- ※ 水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業の資本的収支の収支不足分は各会計の内部留保資金より充当
- ※ 農業集落排水事業 収益的収支については、消費税などの要因でマイナスとなっているが税抜き計算においては利益が出ている
- ※ 収益的収支 … 1事業年度における企業の経営活動に伴い発生するすべての収益と費用
- ※ 資本的収支 … 建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや、企業債 元金償還などの費用とその財源となる収入

② 各財務諸表 … 国の基準を超えると再建計画策定などの制約が課せられるが、結城市は基準をクリアしている

	国の基準（％）		結城市の状況（％）	
	経営健全化基準	財政再建基準	令和6年度	令和5年度
実質赤字比率	13.12 ※1	20.00	- 【 - 7.34 】 ※2	- 【 - 7.72 】 ※2
連結実質赤字比率	18.12 ※1	30.00	- 【 -26.29 】 ※2	- 【 -25.19 】 ※2
実質公債費比率	25.00	35.00	7.9	7.7
将来負担比率	350.00	-	31.2	28.8

- ※1 実質赤字比率・連結実質赤字比率の経営健全化基準は一律でなく、市町村の標準財政規模により変動
- ※2 赤字ではないので算出されないことから【】部分に黒字比率をマイナス値で表記



何者かよくわからないと言われなくなるまで自己紹介

- ・昭和48年（1973年）5月3日 結城市生まれ 52歳 丑年 おうし座 独身 嫁 ゆるく大募集
- ・城南保育所 ⇒ 城南小学校 ⇒ 城西小学校 ⇒ 結城中学校 ⇒ 下館第一高等学校 普通科 ⇒ 日本大学工学部 電気工学科 卒業 ⇒ 民間企業にてシステムエンジニアとして従事
- ・平成15年 結城市議会議員選挙にて当選 ⇒ 以来 3期 12年 市議として活動
- ・平成27年8月 結城市長選挙に立候補するも力及ばず敗戦
- ・敗戦後、政治的活動から引退して全ての公職から退き、民間人として余生を送ろうとしたが、後援会や地元から要請を頂き、平成31年 結城市議会議員選挙にて議員復帰（4期目）
- ・市議会議員 現在 通算 5期目
- ・結城市議会 前 副議長（令和5年5月～令和7年5月） ・総務委員会 委員
- ・茨城県 後期高齢者医療 広域連合 議会 議員（令和7年7月～）
- ・結城南中学校区 新設校 推進委員会 委員（市側の委員会）（令和6年6月～）
- ・結城市消防団 第5分団 団員（平成17年7月～）
- ・結城パタンク協会 会長（令和元年7月～ 現在） ← ぜひ一緒にやりましょう！
- ・『税金はシンプルであるべき』『子供にツケをまわさない』を理念とする日本税制改革協議会の主旨賛同議員としても活動
- ・個人事業主（在宅でのシステムエンジニア）に従事しながら議員活動中



令和7年度 一般会計 補正予算を可決

- ① 一般会計・5特別会計・3企業会計 総額 2,814万 5,000円 減額の補正予算を可決
- ② 一般会計の補正予算のうち「結城中学校区 新設校建設事業費」11億360万円（令和7・8・9年 3カ年 継続 総額 36億7,289万円のうち令和7年度分 事業費）の減額修正が賛成多数で可決された。（①の数値は学校建設費分を抜いた金額）
- ③ 主なものは以下の通り

- ・公共施設 長寿命化等 推進基金 積立金 3,273.8 万円
- ・小田林コミュニティセンター 空調設備 更新工事 660.0 万円
- ・税外収入 過年度 精算還付金（19件） 5,221.5 万円
- ・戸籍事務電算システム 改修委託料 347.2 万円
- ・国民健康保険特別会計 繰出金 358.7 万円
- ・後期高齢者医療特別会計 繰出金 ▲ 161.6 万円
- ・母子生活支援施設入所措置費 300.0 万円
- ・県看護教育財団施設 整備事業 補助金 250.8 万円
- ・個別予防接種 委託料 ▲ 1,852.6 万円
- ・高圧ケーブル 更新工事 190.3 万円
- ・市道草刈路面清掃等 委託 150.0 万円
- ・市道舗装補修事業費 1,800.0 万円
- ・下館・結城都市計画事業 結城南部分第三土地区画整理事業 特別会計 繰出金 ▲ 130.3 万円
- ・公共下水道事業会計 負担金 388.6 万円
- ・富士見町 土地区画整理事業 補助金 1,293.2 万円
- ・新型Jアラート 小型受信機 設置工事 357.5 万円
- ・被災者生活再建支援システム 共同整備事業 負担金 105.4 万円
- ・防災行政無線等 移設工事 456.5 万円
- ・（小学校）修繕料 121.0 万円
- ・（小学校）タブレット端末 設定委託料 ▲ 1,881.0 万円
- ・（小学校）備品購入費 500.7 万円
- ・（小学校）防水改修工事 753.0 万円
- ・（中学校）修繕料 77.0 万円
- ・（中学校）タブレット端末 設定委託料 ▲ 405.8 万円
- ・（中学校）備品購入費 221.2 万円
- ・（情報センター）空調設備用 中央監視装置 更新工事 125.6 万円
- 【国民健康保険】 保険給付費等 交付金 返還金 220.7 万円
- 【後期高齢者】 過年度過誤納還付金 173.3 万円
- 【介護保険】 過年度過誤納還付金 186.8 万円
- 過年度精算還付経費（2件） 7045.8 万円
- 【下水道事業】 大規模下水道管路 特別重点調査 委託料 152.9 万円
- 公共下水道 雨水施設工事 ▲ 9,809.8 万円
- 公共下水道 污水施設工事 ▲ 4,990.7 万円
- 公共下水道 污水施設附帯工事 ▲ 550.0 万円



ちょっと長くコラムっぽい自己反省を含めた編集後記

5月下旬に副議長を退任し、また、いち議員に戻って活動を始めました。

近隣議員からお誘い頂いた県内市町村議員で構成する勉強会に参加したり、昔のご縁で地域で活動されている方々の勉強会にお声掛けを頂いたり、一般質問の再開、質問のテーマ集め、決算特別委員会での質問、会派や仲間の議員との勉強会、地域の皆さんからの相談対応など、初心に帰って再勉強のような気持ちで取り組んでおります。

本誌も、一般質問について紙面を割くようになったことから、活動報告やコラムを載せるエリアが足りず、どのような記事が皆様にとって有益となるのか、限られた紙面で解りやすく正確に伝えるにはどうしたらよいか、などなど、悩みながら原稿を書いております。

この夏は、参議院選挙もあり、茨城県知事選挙もありと、大きな選挙がありました。2つの大きな選挙をみてきた中で、迫りつつある自分の任期満了に伴う次の選挙のことも思慮する機会となりました。茨城県知事選挙では、初めて開票立会人を経験する機会も頂き、選挙管理委員会の皆さん・職員さんの皆さんが手際よく迅速に開票作業を進める様子を間近で拝見しました。

日々学ぶことが多く、知識不足を補っていかねば、と思いながらの活動ですが引き続き、皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りたく宜しくお願い致します。

